

16: 肺血栓塞栓症の予防対策実施率

分母	肺血栓塞栓症の予防対策手術数
分子	分母のうち肺血栓塞栓症予防管理などが実施された手術数
備考	分母について ・肺血栓塞栓症発症のリスクレベルが「中」以上の手術を施行した手術数 分子について ・肺血栓塞栓症予防管理料算定 ・抗凝固剤処方
概要	肺血栓塞栓症の予防方法には、弾性ストッキングの着用や間歇的空気圧迫装置の使用、抗凝固薬療法があり、リスクレベルに応じて単独あるいは併用が推奨されています。周術期の肺血栓塞栓症の予防行為の実施は、急性肺血栓塞栓症の発生率を下げることに繋がると考えられています。

施設コード	調査開始日	調査終了日	分母数	分子数	割合
210111438	20140401	20150331	3,000	2,797	93.23%
210111438	20150401	20160331	3,050	2,841	93.15%
210111438	20160401	20170331	2,472	2,333	94.38%
210111438	20170401	20180331	2,687	2,514	93.56%
210111438	20180401	20190331	2,812	2,640	93.88%
210111438	20190401	20200331	2,961	2,790	94.22%
210111438	20200401	20210331	2,625	2,457	93.60%
210111438	20210401	20220331	2,733	2,594	94.91%
210111438	20220401	20230331	2,749	2,574	93.63%
210111438	20230401	20240331	2,905	2,693	92.70%
210111438	20240401	20250331	2,567	2,329	90.73%
210111438	20250401	20260331			#DIV/0!

